

人と環境に優しい中央区を目指して

2024.8月 第30号

今年は昨年にも増しての酷暑が続いています。 加えて、巨大地震への備えも頭の片隅に置きながらの緊張感あふれる毎日ですが、 皆さまにはお変わりなくお過ごしでしょうか。

ご報告1 令和6年度 中央区森の応援団 通常総会を行いました

◇日 時:2024年6月28日(金) 環境情報センター 18時~19時

今年度も山本区長をはじめ大勢のご来賓にご臨席いただき、令和6年度の通常総会が開かれ、お陰様ですべての議案が承認されました。その後は株式会社東京チェンソーズ代表取締役青木亮輔様より、「森と街の共生」のご講演をいただきました。総会終了後は会場を移し懇親を深めました。ご参加いただきました皆様にはお礼申し上げます。



安西理事長



石橋理事より会計報告



川本中中区長



NPO法人中央区森の応援団 令和六年度通常総会

東京チェンソーズ青木様

ご報告2 エコまつりに参加しました

◇日時:2024年6月2日(日) 10時~15時 ◇場所:あかつき公園

朝からとても強い日差しが照りつける中、エコまつりが開催され、中央区環境課のワークショップのお手伝いをしました。「中央区の森」の間伐材で作ったのは、可愛いクマの形の車とトラックの2種類です。例年は先着順のため申し込みが殺到して午前中で材料が無くなってしまうほどの大人気な企画。今年は整理券を配布したので参加者は余裕をもって取り組むことができました。「お友達と一緒に来たの!」という小学生や、「去年も作って楽しかったからまた来ました。」というご家族までたくさんの方々にご参加いただきました。小さな手でボンドを塗ったり、タイヤをつけたり、一生懸命な姿に「頑張って~!」と応援したり、出来上がった作品を嬉しそうに見せてくれる姿に私たちも思わずニッコリ。同じ材料でできたはずなのに、一つ一つ個性が溢れていました。終了間際になってお天気は一転し土砂降りになってしまいましたが、無事にワークショップを終えることができました。

●編集後記●

今年も異常に暑い夏でした。「今までの常識が通用しない」台風にも見舞われ、気候変動の最中で暮らしていることを実感します。今の子どもたちが我々の歳になる頃も健康に暮らせるよう、環境負荷をこれ以上かけないような行動をとりたいですね。

発行:NPO 法人中央区森の応援団 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-5-5

TEL.03-3666-0930

Mail. info@chuokumori.org

ホームページ http://chuokumori.org/index.html



ご報告3 檜原村都民の森とふるさと夏祭り花火見学ツアーを実施しました

◇日 時: 2024年8月17日(土) 13時~22時50分

前日は台風の影響で大荒れのお天気でしたが、当日は好天の中、29 名が参加し、檜原村でのひとときを堪能しました。 最初の訪問地、都民の森に向かう途中、一時的に激しい雨に見舞われましたが、到着する頃には上がり、簡単な木工体験をする班と、三頭大滝を見学する班に分かれての行動に。三頭大滝は、前日と直前の雨のせいか水量が多く、迫力ある眺めでした。 木工班はキーホルダーを作り、お土産に持ち帰りました。今回 3 名のお子さんが参加されましたが、夢中になって制作に勤しんでいたようです♪

都民の森の後は、井上食品に立ち寄りました。いつものように沢山の試食をご用意くださり、美味しいこんにゃくに舌鼓を打ちつつ各自お気に入りの商品を買い求めました。

ふるさと夏祭り会場では、花火開始まで歌謡ショーや檜原音頭の盆踊りで楽しみました。お待ちかねの花火は 8時打ち上げ開始。間近で見る花火は迫力満点。昨年は途中から雨が降り出しましたが、今年は最後まで落ち着いて見ることができました。 帰り道も渋滞に巻き込まれることなく、予定通りの時間に解散することができました。今回のツアーでは、東京建物様、高島屋様から日本酒を1本ずついただき、井上食品様からは、全員にお土産をいただきました。また、棒原材役場の方々には駐車場の確保をしていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。



払沢の滝 夏祭り 花火会場 | 一種原本数もお腹に響きました

払沢の滝夏祭り花火大会会場。まずは盆踊り大会。檜原太鼓に合わせて檜原音頭を踊り、山々にこだまするド〜ンという大きな音とともに真上に上がる花火に大興奮!檜原村の人々の地元を大切にする熱い想いを感じた夏の夜でした。